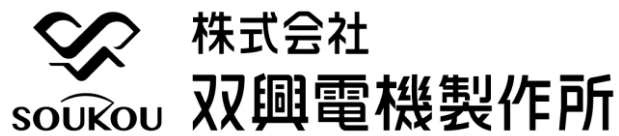


放電抵抗棒  
DR-30K  
取扱説明書  
[第1版]



本社、工場 〒529-1206 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野215  
tel 0749-37-3664 fax 0749-37-3515  
東京営業所 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町三友ビル3F  
tel 03-3258-3731 fax 03-3258-3974

営業的なお問合せ：[sell-info@soukou.co.jp](mailto:sell-info@soukou.co.jp)  
技術的なお問合せ：[tec-info@soukou.co.jp](mailto:tec-info@soukou.co.jp)  
URL：<http://www.soukou.co.jp>

# 目次

安全にご使用いただくために	2
警告・免責事項	3
1. 仕様	4
2. 各部名称	5
3. 放電手順	6
4. 外形図	7

## 安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくため、試験装置をご使用になる前に、次の事項を必ずお読み下さい。  
また、仕様に記されている以外で使用しないで下さい。  
試験装置のサービスは、当社専門のサービス員のみが行えます。  
詳しくは、(株)双興電機製作所にお問い合わせ下さい。

### 人体保護における注意事項

- |              |   |
|--------------|---|
| 感電について       | 人体や生命に危険が及ぶ恐れがありますので、コードを接続する場合は、必ず指定の端子、であることを確認して接続して下さい。 |
| 機器が濡れた状態での使用 | 感電の恐れがありますので、機器が濡れた状態では使用しないで下さい。                           |
| ガス中での使用      | 発火の恐れがありますので、爆発性のガスがある場所では使用しないで下さい。                        |

### 機器保護における注意事項

- |           |   |
|-----------|---|
| 故障と思われる場合 | 故障と思われる場合は、必ず(株)双興電機製作所または、販売店までご連絡下さい。 |
|-----------|---|

## 警告

この製品は、高圧電力設備の試験、点検をする為の機器で、一般ユーザーを対象とした装置ではありません。電力設備の点検、保守業務に携わる知識を十分にもった方が操作を行う事を前提に設計されています。

その為、作業性、操作性を優先されている部分がありますので、感電事故等が無いように、十分に安全性に配慮して下さい。

## 免責事項

- ◎本製品は、高圧電力設備の残留電荷を放電する装置です。装置の取扱いに関する専門的電気知識及び技能を持たない作業者の誤操作による感電事故、被試験物の破損などについては弊社では一切責任を負いかねます。  
本装置に関連する作業、操作を行う方は、  
労働安全衛生法 第六章 労働者の就業に当たっての措置  
安全衛生教育 第五十九条、第六十条、第六十条の二  
に定められた安全衛生教育を実施して下さい。
- ◎本製品は、高圧電力設備の残留電荷を放電する装置で、高圧電力設備全体の電気特性を改善したり劣化を抑える装置ではありません。被試験物に万一発生した各種の事故（電氣的破壊、物理的破壊、人身、火災、災害、環境破壊）などによる損害については弊社では一切責任を負いかねます。
- ◎本製品の操作によって発生した事故での怪我、損害について弊社は一切責任を負いません。また、操作による設備、建物等の損傷についても弊社は一切責任を負いません。
- ◎本製品の使用、使用不能によって生ずる業務上の損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ◎本製品の点検、整備の不備による動作不具合及び、取扱説明書以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ◎本製品に接続する測定器等による誤動作及び、測定器の破損に関して、弊社は一切責任を負いません。

# 1. 仕様

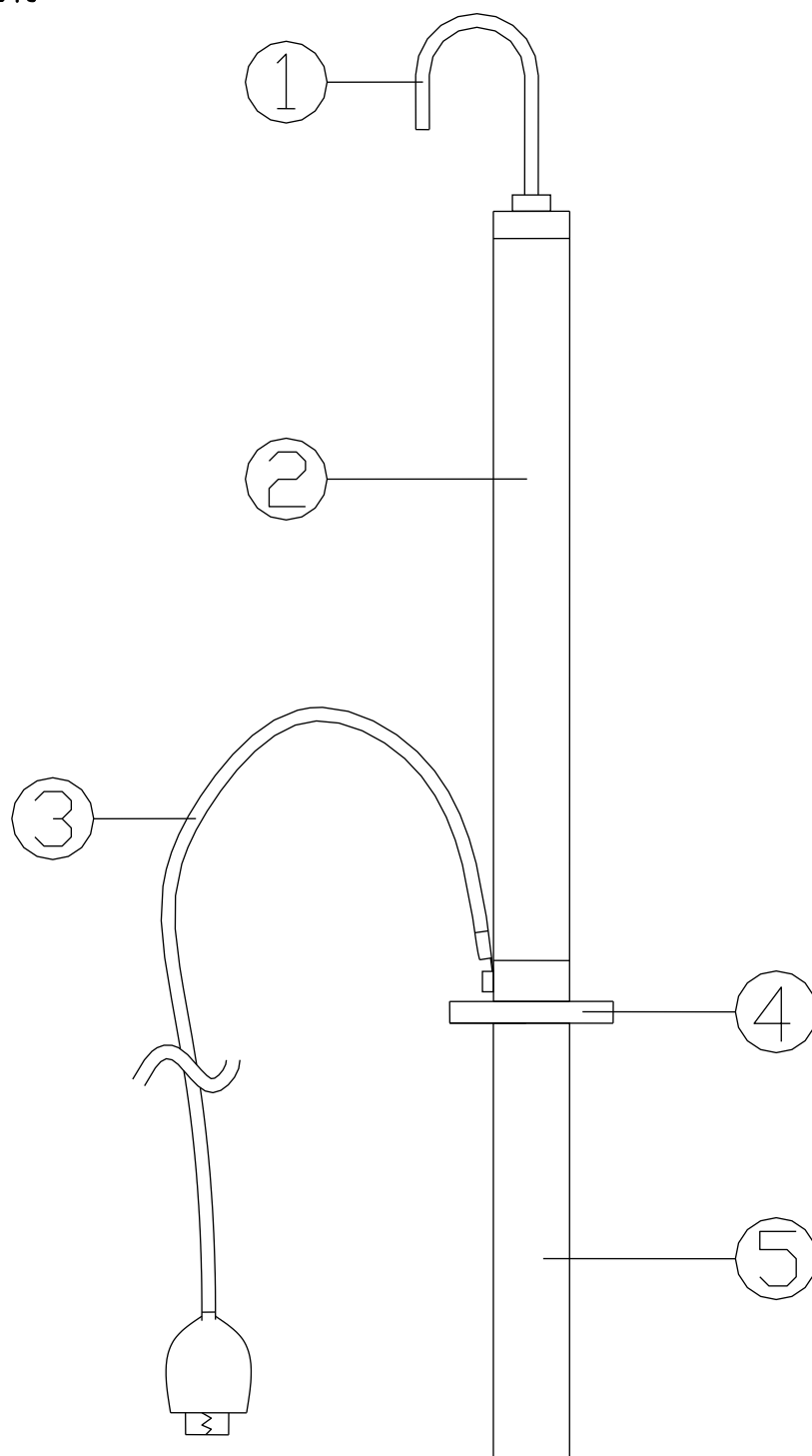
## A. 本体

- |           |   |
|-----------|---|
| 1) 使用目的   | ケーブルなどの直流耐圧試験・直流絶縁診断終了後の電荷の放電               |
| 2) 想定静電容量 | 1 $\mu$ F 以下                                |
| 3) 内蔵抵抗   | 1M $\Omega$                                 |
| 4) 最大放電電圧 | DC40kV                                      |
| 5) パイプ材質  | ポリアセタール樹脂 (POM)                             |
| 6) 外形寸法   | 28 ( $\phi$ ) $\times$ 540 (L) つば 60 $\phi$ |
| 7) 重量     | 約800g                                       |
| 8) 使用環境   | 温度 0~40 $^{\circ}$ C, 湿度 80%以下 (ただし結露しないこと) |

## B. 付属品

- |          |         |    |
|----------|---------|----|
| 1) リード線  | アース用コード | 1本 |
| 2) 収納ケース |         | 1枚 |
| 3) 取扱説明書 |         | 1部 |

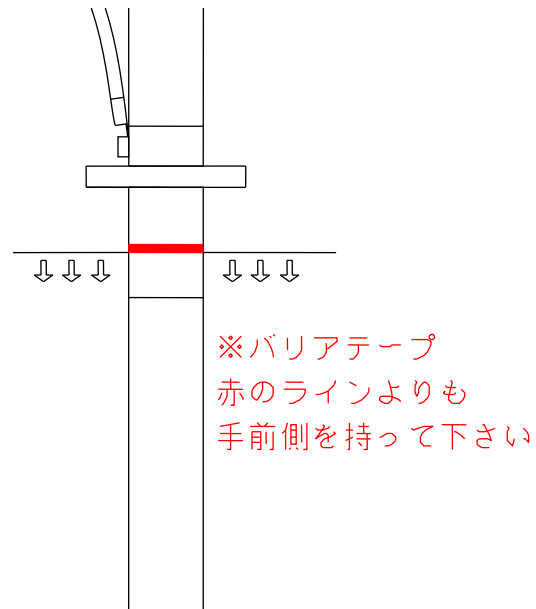
## 2. 各部名称



- ① 先端フック : 放電対象物に接触させます
- ② 抵抗収納部 : 放電抵抗 1 MΩ 内蔵
- ③ 接地ケーブル : 接地に接続して下さい
- ④ つば部 : 抵抗収納部への接触を防止します
- ⑤ 握り手部 : 電荷放電時、この部分を持ちます

### 3. 放電手順

- 1) 各直流試験の回路構成を行う時に、本装置の接地コードのクリップを接地へ接続します。
- 2) 試験終了後、被試験物の残留電荷放電作業を行います。  
※この時、最大印加可能電圧は40kVです。
- 3) 高圧ゴム手袋を使用し、握り部（バリアの手前）を持ちます。



- 4) 試験装置の電圧計の指示を確認しながら、ゆっくりと本装置の先端部分を高圧充電部に接触させます。  
※放電時、電流計には大きな電流が流れるので、電流計はショートにしてください。
- 5) 電圧計の指示が0Vになるまで、接触させます。  
電圧計で残留電荷が確認できない場合は、放電が終了するまで1分間程度接触させます。
- 6) 高圧充電部に接触した状態で、直流高圧検電器で検電を行い、検電器が反応しない事を確認します。
- 7) 短絡接地工具で、接地と高圧充電部を短絡し、完全に放電を行います。
- 8) 短絡接地工具を接続した状態で、本装置を高圧充電部から外します。
- 9) 試験装置で構成している試験回路を外します。
- 10) 短絡接地工具を外します。

#### ※注意事項

- 1) 放電抵抗棒のアースは、A種（第1種）程度の接地極と接続して下さい。
- 2) 放電抵抗棒で電荷を放電する場合は、必ず高圧用ゴム手袋を装着して下さい。
- 3) この、放電抵抗棒は、直流試験完了後の残留電荷の放電を目的としていますのでその用途以外に使用しないで下さい。

#### 4. 外形图

